

青梅市図書館基本計画（原案）（令和8年度～12年度）の意見募集（パブリックコメント）実施結果

- 1 実施期間
令和7年4月16日（水）～4月29日（火） 14日間
- 2 意見募集結果
2名
- 3 意見要旨および市の考え方

	意見概要	市の考え方
1	・年間数校ずつでよいので、学校図書蔵書の電子管理を早く実行して欲しい ・学校への団体貸出を2ヶ月ではなく、3ヶ月にして欲しい(学期中の学級文庫で活用できるように) ・団体貸出の図書を直接学校に届けて欲しい ・出張お話し会は、是非、年間複数回申込が可能にして欲しい(せめて2回) ・学校司書の在校日数を増やして欲しい 特に、団体貸出は車通勤でないと利用へのハードルがかなり高く感じる。近くの分館への距離がある学校への配慮をお願いしたい。 また、学校図書の電子化は、現在予算の関係で見送られているので、少しずつよいのでは是非進めていただきたい。 「基本計画」の内容とずれる部分もあるかと思いますが、子供たちへの読書活動推進に向けて、よろしくお願いします。	御意見ありがとうございます。 今回の図書館基本計画は、図書館サービスの全体に焦点を当てております。御提案いただいた学校図書館についての内容は、「第5次青梅市こども読書活動推進計画」で明示しており、同計画を推進して行く中で、市の予算配分、教育委員会の関係課や各学校との調整を行ったうえで実施していくものになると考えます。御意見として伺います。
2	第3章 青梅市の現状と課題－2今後の課題－(2)リクエストに関して、「利用者用検索機、図書館ホームページからの非所蔵資料のリクエスト受付について検討を継続します（視聴覚資料および電子書籍を除く）。（予定）」となっているが、検討を継続することは当然として、具体的な導入時期を数値目標として明示すべきである。次期基本計画に検討期間、システム導入期間、供用開始時期を記載すべきと考える。	御意見ありがとうございます。 非所蔵資料のリクエストについて、現段階では、令和7年10月導入予定の新システムの運用状況や利用者ニーズの分析などを考慮したうえでの慎重な検討が必要と考えます。 予定が確定した段階で速やかに公表する方針です。
3	第3章 青梅市の現状と課題－2今後の課題－(5)図書館機能の移転等を含めた新施設の検討に関して、図書館機能は中央図書館と新設青梅図書館に集約し、その他の分館は廃止すべきである。 分館運営コスト低減分を図書の充実に予算を振り分けるべきと考える。分館は蔵書数が少なく、図書館として魅力に乏しく、存続させる価値はない。ただし、リクエスト図書の受取と返却機能は残すことで、分館周辺住民の利便性を確保する。	御意見ありがとうございます。 青梅図書館をはじめとした分館図書館は、地域の図書館として親しまれている一方で、規模が小さく、中央図書館と比較して蔵書数が少ないことは認識しています。分館の図書の充実については、最適な方法で予算を振り分けられるよう努力を続けていきます。 また、分館集約については、青梅市公共施設等総合管理計画にある再編の基本的な考え方をもとに、サービス等も含め検討してまいります。
4	第4章 青梅市図書館の基本的な考え方－4今後の取組方向について－(3)開館時間（継続）について、「ア 中央図書館 午前9時から午後8時」となっているが、中央図書館は都市型図書館として、都心に通勤している者が帰宅時に立ち寄れる開館時間とすべきであり、午後10時までの開館を要望する。 理想的に中央図書館は24時間開館（窓口業務は午前9時から午後10時）とすべきであり、窓口に人がいない時間帯は登録者のみ入場できるとして、セキュリティと利便性の向上をより一層はかるべきと考える。	御意見ありがとうございます。 中央図書館の午後8時以降の開館時間延長については、人件費や光熱水費等の運営経費が増加となること、また、24時間開館は保安上の懸念があることから、実施は難しいと考えますが、御意見として伺いし、今後も効果的な開館時間を研究してまいります。 なお、令和7年10月から、来館によらず24時間利用可能な「電子書籍サービス」を開始いたしますので御利用ください。
5	第4章 青梅市図書館の基本的な考え方－4今後の取組方向について－(16)広報・広聴活動等の充実（一部拡充）－イ 広聴－(ア)図書館利用者アンケートの実施について、「毎年1回利用者の意見等を把握するため、利用者アンケートを実施し、ホームページで公開しサービス向上に努めます。」とあるが、図書館ホームページ上でアンケートを実施できるようにすべき。	図書館利用者アンケートについては、令和6年度から、来館時に館内掲示等のQRコードを読み込むことにより、WEB上での回答が可能となっております。 また、図書館ホームページ上でのアンケートの実施については、ホームページの特性上、青梅市図書館利用者以外も回答が可能となり、利用者以外の意見が見込まれるため、実施する予定はありません。